

生物標本の 収蔵問題を考える

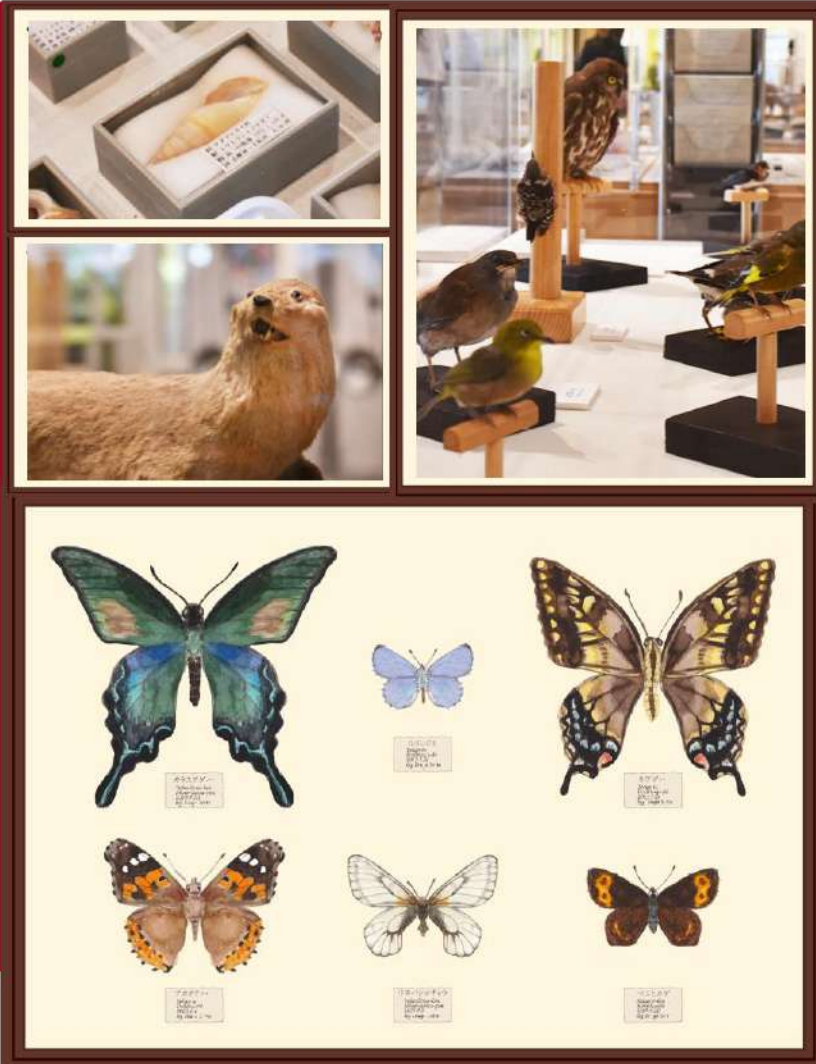
～国内の先進事例を参考に～

令和6年2月20日(火) 13時～16時半

場所 オーテピア4階研修室・集会室(研究会)
高知県高知市追手筋2-1-1

令和6年2月21日(水) 10時～11時半

場所 高知県立牧野植物園(見学会)
高知県高知市五台山4200-6



高知県をはじめ全国各地の生物資料収蔵場所の不足が顕著となっており、用途目的を異にする廃校等が保管場所にあてられる事例が多くみられる。

そうした現状を踏まえ、資料本来が、適切な環境の下にあるべき施設や管理体制などの検証を通して、現在置かれている県内外の自然系博物館の現状と課題を参加者と共有し、今後の自然系資料の保管や活用のあり方について議論し、展望を開く。

■対象 本学会員及び博物館に関係する学芸員、行政職員、研究家、自然や生物に興味がある一般市民

■参加費

講演、シンポジウムは無料。
牧野植物園見学会は
入場料730円が必要です。

■申込方法

Googlformsにて受付
<https://forms.gle/QdxuiHVbHDDaReiLH7>

※2日目のみの参加も可能です。

■申込締切 2月14日(水)まで

■問い合わせ先 zenpakugyoji@gmail.com
(全日本博物館学会 行事担当)

申込フォーム



■主催：全日本博物館学会 ■共催：こうちミュージアムネットワーク 高知みらい科学館

■後援：高知県・高知県教育委員会、高知市・高知市教育委員会